
■ さろん | Mail News 2018/5/1 | #114 ■ 【イベント号】

ご案内不要の方はお手数ですがこのメールにそのままご返信ください。

哲学カフェ及び関連イベント情報をお送りします。みなさんの興味・関心の一助としていただくとともに、今後とも「さろん」を応援いただければ幸いです。

なお、このメールニュース掲載のコラム等は執筆者の個人的な考えを表したものです。会や専門領域における統一見解や事象を扱っているものではありません。予めご了承ください。

=====Vol.114 2018年5月1日(火)=====

さ | ろ | ん |
└ ─ ─ ─

M | a | i | l | N | e | w | s |
└ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─

<http://salon-public.com/>

(バックナンバーはHPからご覧いただけます)

<https://twitter.com/salontetsugaku>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

INDEX

- | 【1】 予約受付中：5/19 さろん哲学 第93回 テーマ：「運命とはどういうことか？」
- | 【2】 予約受付中：5/13 朝さろん 〈80〉『存在の耐えられない軽さ』 / 〈リクエスト特集〉
- | 予約受付中：6/17 " 〈81〉『影との戦い・ゲド戦記I』 / 〈リクエスト特集〉
- | 予約受付中：7/8 " 〈82〉『夜と霧』 / 〈リクエスト特集〉
- | 【3】 開催の報告：4/21 さろん哲学 第92回 テーマ：「自動運転」
- | 【おしらせ】 さろんラボ 企画を募集中です♪
- | 【4】 関連イベント情報
- | 編集後記

CONTENTS

【1】 さろん哲学

第93回 テーマ：「運命とはどういうことか？」

次回さろん哲学を下記のテーマで開催します。

日 時 : 2018年5月19日(土) 15:00-17:00
テーマ : 「運命とはどういうことか?」
進 行 : 堀越
会 場 : カフェ・ミヤマ 渋谷公園通り店1号室
参加費 : 1,200 円/人
定 員 : 16 名

▽司会から : 人はときに「初めからこうなる運命だった」や「運命の人と出会った」等と言う。
運命は本当にあるのか。あるとしたら一体どういうことか。考えてみたい。

ご予約・ご質問はこちら⇒ salontetsugaku@gmail.com

詳細はこちらをご覧ください。

<http://salon-public.com/tetsugaku/>

<https://twitter.com/salontetsugaku>

- 会場は前回と異なりますので、ご注意ください。
- 携帯からメールを送信される場合、お返事のメールが受信できるよう、迷惑メール設定を適切にご変更願います。
- さろん哲学は原則【毎月第3土曜】に開催しています
- さろんのイベントに参加申し込みをされた方には、もれなく毎月メールニュースが配信されます。ご不要の方はさろんの HP <http://salon-public.com/> の末尾のフォームに、その旨ご記入願います

—— 【2】朝さろん/夜さろん——

朝さろん 〈80〉『存在の耐えられない軽さ』ミラン・クンデラ/ 〈リクエスト特集〉
〃 〈81〉『影との戦い・ゲド戦記 I』ル＝グウィン/ 〈リクエスト特集〉

いよいよ今月から、参加者の推薦による〈リクエスト特集〉の開幕します。
みなさんに御推薦の本を寄せていただき、毎月1冊ずつみんなで読みます。
気になる本のある方、ぜひお気軽に御推薦をお願いします。
これまでの開催内容はHP「朝さろんの本棚」から閲覧できます。

<http://salon-public.com/archives/category/033>

【朝さろん】

◆朝さろん 80th morning

『存在の耐えられない軽さ』ミラン・クンデラ/ 〈本棚拜見(リクエスト特集)〉

日 時 : 2018年5月13日(日)9:05-12:00

参加費 : 1500 円程度 (ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み)

場 所 : 渋谷周辺の会議室利用予定 (ご予約時にご案内いたします)

本 : 『存在の耐えられない軽さ』ミラン・クンデラ(集英社文庫)

バリスタ (進行) : 松村さん

内 容 :

- ・推薦者・松村さんからの紹介コメント「学生時代に会って以来、折にふれては読み返すお気に入りの小説です。男女の群像劇としても十分楽しめますが、随所に散りばめられた『哲学的問い』によって、ついあれこれと思考を巡らせたくなる、そんなところも魅力のひとつだと思います。この小説を介してみなさんとお話できるのを楽しみにしています。」
- ・あらすじ『苦悩する恋人たち。不思議な三角関係。男は、ひとりの男に特別な感情を抱いた。鮮烈でエロチック…。プラハの悲劇的政治状況下での男と女のかぎりない愛と転落を、美しく描きだす哲学的恋愛小説。』

◆朝さろん 81st morning

『影との戦い／ゲド戦記 〈1〉』 アーシュラ・K. ル＝グウィン / 〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

日 時 : 6月17日(日)9:05-12:00 *都合により開催週を変更しています

参加費 : 1500円程度 (ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み)

場 所 : 渋谷周辺の会議室利用予定 (ご予約時にご案内いたします)

本 : 『影との戦い／ゲド戦記 〈1〉』 アーシュラ・K. ル＝グウィン

バリスタ (進行) : ひいらぎさん

内 容 :

- ・推薦者・ひいらぎさんからの紹介コメント「私がゲド戦記シリーズ (『Earthsea (アースシー)』) を初めて読んだのは社会人になってからでした。『こういう物事の捉え方 (考え方) があったのかー!!!』と、ものすごい衝撃を受けました。その衝撃が、今もじわ〜んと残っているくらい。この本の中に、その時の私が探していた答えがあったわけではないのですが、大事なヒントをもらいました。ファンタジー作品の面白さというのは、創られた架空の世界のことなのに、自分の現実を重ねてみるができること。時には、自分のいる現実を理解する手助けをしてくれる。そして、いつ読み返しても古くなることがない。……ことかなと私は考えています。 (...) 今回取り上げるゲドは、1巻の『影との戦い』ですが、ゲドの人生はこの後も続きます (全6巻)。1巻は、主な登場人物が魔法使いの男性ばかりで色味が地味な印象がありますが、2巻の『こわれた腕輪』以降、女性のテナーをはじめ、様々な立場、世代の人物が登場してきて、色彩豊かになっていきます。そして、ゲドたちが生きるアースシーの世界にも変化が……。というわけで、未読の方にはアースシー世界への入門書として、2巻以降のきっかけにもなるといいなと思っています。」
- ・あらすじ『大魔法使いオジオンに、才能を見出された少年ゲド。自分に並はずれた能力がそなわっていることを知ると、魔法の力にさらに磨きをかけようと、魔法の学院に入る。得意になった彼は禁じられた呪文を唱え、自らの〈影〉を呼び出してしまい、〈影〉との果てしない戦いに引き込まれていくことになる。大賢人ゲドの若き日の物語。』

◆朝さろん 82nd morning

『夜と霧』 ヴィクトール・E・フランクル / 〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

日 時 : 7月8日(日)9:05-12:00@渋谷

本 : 『夜と霧』 V・E・フランクル(みすず書房)

バリスタ (進行) : OYM さん

◆朝さろん 83rd morning

『芋虫』江戸川乱歩／〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

日 時：8月5日(日)9:05-12:00@渋谷 *都合により開催週を変更しています

本：「芋虫」(『江戸川乱歩傑作選』所収) 江戸川乱歩(新潮文庫)

バリスタ(進行)：OSWさん

◆リクエストも引き続き募集中です♪

ご予約受け付け中です； salontetsugaku@gmail.com (担当：芹沢)

過去の開催内容をHPに掲載しています。

◇朝さろんの本棚 <http://salon-public.com/archives/category/033>

◇夜さろんの本棚 <http://salon-public.com/archives/category/034>

【開催概要】

《朝さろん》第2週の日曜AMに開催(場合によって開催週変更の場合あり)

《夜さろん》不定期開催

【3】さろん哲学

第92回 テーマ：「自動運転」

前回さろん哲学を下記のテーマで開催しました。

日 時：2018年4月21日(土) 15:00-17:00

テーマ：「自動運転」

進 行：野田

会 場：Under The Mat カフェ 中目黒

参加者：14名

▽司会から：

自動運転が実用化した時の責任についてどう感じるか、自動運転によって失われるものは何かなどについて議論しました。

近日中にHPに議事録を公開します。

詳細はこちらからご覧ください。

<http://salon-public.com/archives/category/023>

ご感想などありましたらお寄せください； salontetsugaku@gmail.com

【おしらせ】

さろんラボ 企画を募集中です♪

名称：【さろんラボ】

コーディネーター：【大村】

さろんでは「さろんラボ」を常設しています。

このさろんラボではみなさんの「やってみたい」を核に、「さろん」を触媒にして、どんな化学変化が起きるかを試みる場所です。「さろんラボ」からは、さろんの参加者の手で、以下の2つのイベントがうまれました。

■001 「あたまの中を散歩するてつがくカフェ」

<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

■002 「哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル」

<http://ante-table.wix.com/ante-table>

既存の哲学カフェのカタチに限定せず、みなさんの中で温まっている関心ごとやご興味を添えてお気軽に下記までご連絡下さい。みなさんとの新しい化学変化を、スタッフ一同心から楽しみにしています。

▽詳細はこちらまで salontetsugaku@gmail.com (担当：大村)

【4】関連イベント情報

哲学カフェ関連イベントやおもしろスポット、その他おすすめ情報をご紹介します

From さろんラボ：001

〔あたまの中を散歩するてつがくカフェ〕第32回

ひとりひとりの言葉をじっくりときき、ゆっくりと考えることを大切に活動しているてつがくカフェです。東京と愛知の両方で開催していますので、参加を検討いただく際には会場のご確認をお願いいたします。

次回日程が未定のため、決まり次第ウェブサイトとツイッターにてご案内します

運営・進行：くらち

定員：6～8名程度

参加費：無料

※参加には事前の申し込みが必要です

※ご都合にあわせて途中参加や途中退出をしていただいてもかまいません

※当日の詳細は参加申し込みいただいた方へご連絡します
※参加費は無料ですが、会場での飲食代実費は各自ご負担ください
※参加申し込みはウェブサイト内の「申し込みと問い合わせ」フォームから、
もしくは sanpo.tetsugaku@gmail.com までご連絡ください（Gmail が受信できる設定をお願いいたします）

ウェブサイト：<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>
ツイッター：https://twitter.com/sanpo_tetsugaku/
お申込み・ご質問：sanpo.tetsugaku@gmail.com（くらち）

From さろんラボ：002
〔哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル〕第16回

テーマ：私が『生まれる』とは、どのようなことか？

哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル
HP：<http://ante-table.wix.com/ante-table>
email：cafe.ante.table@gmail.com

（一覧になっているもの）

▽首都圏哲学関連イベントまとめサイト

<http://tokyotetsugakumatome.g.hatena.ne.jp/>

▽もっと自由に「てつがく」したい！対話がメインな東京の哲学カフェまとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2136167936080093501>

▽全国各地の哲学カフェ

<http://matome.naver.jp/odai/2138543414370880601>

▽哲学カフェ一覧

<http://www.135.jp/lite/>

▽東京で行われている読書会まとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2135489489421994201>

▽5/26（土）12：30～ホップズ『リヴァイアサン』読書会（後半）
「ソクラテスと亀」共催イベント

12:30 - 14:30 会場：双子のライオン堂書店

<http://ptix.at/ZyDMNu>

第2回 5/26 (土) 12:30～ 『リヴァイアサン』 後半

第3回 6/23 (土) 12:30～ 『統治二論』

第4回 7/28 (土) 12:30～ 『社会契約論』

第5回 9/29 (土) 12:30～ 『法』の精神』

▽Eテレ「世界の哲学者に人生相談」

毎週木曜 午後11時

<http://www4.nhk.or.jp/tetsugaku-soudan/>

▽『こどものてつがく・ケアと幸せのための対話』(シリーズ臨床哲学3), 大阪大学出版会

高橋 綾 (著), 本間 直樹 ほんまなほ (著), 鷲田 清一 (監修)

<https://www.amazon.co.jp/dp/4872595807>

▽『ソクラテック・ダイアローグ 対話の哲学に向けて』(シリーズ臨床哲学4), 大阪大学出版会

<http://www.osaka-up.or.jp/books/ISBN978-4-87259-604-5.html>

▽『問い続ける教師 教育の哲学×教師の哲学』

多賀 一郎 (著), 苫野 一徳 (著)

<https://www.amazon.co.jp/dp/4761923636>

▽読書猿(『問題解決大全』) × 原田まりる(『まいにち哲学』) 対談

<https://www.bunkanews.jp/news/news.php?id=18117>

▽『なぜと問うのはなぜだろう』吉田夏彦(ちくまプリマー新書)

<https://www.amazon.co.jp/dp/4480689907/>

▽『子どもたちの未来を拓く探究の対話「p4c」 p4c みやぎ・出版企画委員会, 東京書籍

<https://www.amazon.co.jp/dp/448781071X/>

▽『作家、学者、哲学者は世界を旅する』ミシェル・セール

<https://www.amazon.co.jp/dp/480100198X/>

▽『あなたの知らない脳——意識は傍観者である』デイヴィッド・イーグルマン

<https://www.amazon.co.jp/dp/415050475X/>

▽『幸福はなぜ哲学の問題になるのか』青山拓央

<https://www.amazon.co.jp/dp/4778315359/>

▽『中動態の世界 意志と責任の考古学』國分功一郎

<http://www.igaku-shoin.co.jp/bookDetail.do?book=87748>

▽『社会にとって趣味とは何か』北田暁大・解体研 [編著]

<http://web.kawade.co.jp/bungei/1262/>

▽『哲学がわかる 因果性』スティーヴン・マンフォード、ラニ・リル・アンユム、岩波書店

<https://www.amazon.co.jp/dp/4000612417/>

▽「観光経験の現象学」エリック・コーヘン

5つのモード〈レクリエーション、気晴らし、経験、体験、実存〉

<https://ci.nii.ac.jp/els/contents110000474986.pdf?id=ART0000859721>

▽哲学プラクティス連絡会

<http://philosophicalpractice.jp/>

▽カフェフィロ

<http://www.cafephilo.jp/>

▽Core Talk Cafe おとなのためのてつがくカフェ

<http://www.coretalkcafe.jp/index.html>

▽てつがくカフェ@せんだい

<http://tetsugaku.masa-mune.jp/>

▽てつがくカフェ「医療とケアを問い直す」

<http://sinemasamune.blog.fc2.com/>

▽NPO 法人こども哲学おとな哲学アーダコーダ

<http://ardacoda.com/>

▽人生カフェ

詳細：詳しくは「人生カフェ」で検索を。

<http://tokyojinseigakuin.cocolog-nifty.com/blog/>

▽対話学舎えんたらいふ

ねりまの哲学対話“ねりテツ”

カフェ藤香想『わわわの話』

<http://msentalife.wixsite.com/entalife>

▽竹林茶話会 哲学Cafe@柏

<https://www.facebook.com/chikurinsawakai/>

▽はなこ哲学カフェいどぼたのいどほり

<https://www.facebook.com/hanakophilosophycafe/>

▽対話の実験室@公差転

<http://kosaten.org/taiwa/>

▽対話カフェ Tokyo～Yokohama

<https://taiwa-cafe.jimdo.com/>

▽デモクラシーCafe@東村山

http://blog.livedoor.jp/pieru80-democracafe_higashimurayama/

▽読書と対話の会

<http://love.link/pg47.html>

▽クルミドの朝モヤ

<http://ameblo.jp/kurumed/>

▽小金井哲学カフェ

<http://koganei-philosophycafe.blogspot.jp/>

▽高千穂大学哲学研究会パイディア

<https://paideiatakachihophilosophy.wordpress.com/>

▽UTCP (東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属「共生のための国際哲学研究センター」)

<http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/>

▽東京メタ哲学カフェ

<https://mgasamihonma.wixsite.com/tokyometa>

<https://www.facebook.com/tokyometa/>

▽P4C-japan

<http://p4c-japan.com/>

▽クラリスブックスの読書会 | 東京下北沢の古本屋

<http://blog.clarisbooks.com/2014/07/15/2696>

▽読書会ガイブンキョウク

<https://twitter.com/gaibunkyoku>

▽京都・大阪市民読書会

<http://kyotobookclub.blog.fc2.com/>

▽原稿の推敲・校正・リライトを支援する3つの文章チェックツールを作りました！

<http://tokimaki.hatenablog.com/entry/2016/10/23/160512>

▽リフレクション・ポータル

<http://reflectionportal.com/>

▽ヨコハマ読書倶楽部

<https://yokohama-dokusho.jimdo.com/about-us/>

▽本場所（表参道）

著者自身による小説の朗読会

<http://www.honnobasyo.com/>

編集後記

メールニュース第114号をお届けします。

ホロホーウ。GWの真ただ中ですね。

ラジオを聞いていると行楽地はどこも人でいっぱいようです。

なのでフクロウはフクロウらしく近所の公園に出かけたり、まったくビールを飲んだりしています。満月が綺麗な連休前半なのでした。

某スタッフK氏がイタリア地中海旅に出発して4日くらいが経ちますが、いまのところ近況などは届いていません。きっと夢中になるくらい楽しいのでしょう。羨ましい限りです。

さろん内の行事予定(?)で行くと、

連休後半の3日は某前代表の御尊父の御指導による文章教室があります。

受講者は前代表+フクロウの2名だけという、それはもう贅沢かつ真剣なまなびの時間です。

漱石の家に集った門人食客たちの風情はこんな感じだったのかなーと偲ばれますが、「よく考える」ということを、対話だけでなく「書く」ことの側面から見つめ直す。そういう機会も相当意味があるんじゃないかと受講者2名は考えているようです。

近年、大学ではアカデミックライティングの基礎講座がかなり充実していますが、哲学プラクティスでも、そういう部分に特化したプログラムがあっても面白いかもしれませんね。

この模様は追ってご報告差し上げたいなと思っています。

7日にスタッフMTGがあつて、13日(日)は「朝さろん(読書会)」。

今月は参加者の推薦&進行によるリクエストシーズンです。

今月取りあげる『存在の耐えられない軽さ』は映画の方も有名ですが、ノーベル賞候補ともいわれる巨匠クンデラによる”哲学的恋愛小説”です。

身を持ち崩す男と女の不倫。刹那的な情の波間に漂う軽薄さ、放恣さ。

乾いた虚無と根源的な不可解が入り混じる文学的香気の漂う作品ですが、なぜ本作は読まれるのでしょうか？

なぜ『失樂園』（渡辺淳一）はあんなピークを作ったものの、読み継がれ難いのでしょうか。
”哲学的恋愛小説”というのがそこになにかしら関係があるのでしょうか。

19日（土）は「さろん哲学（哲学カフェ）」。テーマは『運命とはどういうことか？』です。
過去に『全ては予め決定されているのか？』（2015.2）というテーマでも開催していますが、

http://salon-public.com/wp-content/uploads/2017/01/salon_giji_54.pdf

汲めども尽きせぬお題だと思います。

あるいは少し見方を変えるだけで、

『自分を客観的に見るとはどういうことか』（2010.12）や

http://salon-public.com/wp-content/uploads/2013/01/salon_giji_04.pdf

『自由とは何か？』（2011.9）という問いにもつながっていきそうですね。

http://salon-public.com/wp-content/uploads/2013/01/salon_giji_13.pdf

いずれもご予約受付中です。

初参加の方大歓迎です、ぜひ遊びにいらしてください。

引続きGWをゆるりとお楽しみください。

それではまた次号でお会いしましょう。ホウ。

編集：（フクロウ）

さろん | Mail News 2018/5/1

⇒次号（5月15日発行予定）

さろん Mail News 第114号 / 2018年5月1日発行【イベント号】

編集・発行：さろん

salontetsugaku@gmail.com

<http://salon-public.com/>

<https://twitter.com/salontetsugaku/>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

-
- ◇ 「さろん」にお知らせいただいたお名前・メールアドレスなどの個人情報は、当会からのご案内のためだけに使用いたします。
また、ご本人の同意なく第三者への提供はいたしません。
 - ◇ 「Mail News」の無断転載はご遠慮ください。転載ご希望の場合はご連絡願います。
バックナンバーはHPからご覧いただけます。
 - ◇ 【Twitter】 <https://twitter.com/salontetsugaku>
 - ◇ 【Facebook】 <https://www.facebook.com/salontetsugaku/>
 - ◇ 【ホームページ】 <http://salon-public.com/>

「さろん哲学」 Web サイト <http://salon-public.com/tetsugaku/>

「朝さろん」 Web サイト <http://salon-public.com/asa/>

「さろん工房」 Web サイト <http://salon-public.com/koubou/>

「あるばか学校」 blog <http://alpacagakkou.blog.fc2.com/>



"copyright (c) 2011-2018 さろん. All rights reserved."
